

(別紙1)

事業報告書

| | |
|------|---|
| 事業名 | 病弱児と家族等の孤立を防ぎ支援理解を深める情報発信事業 |
| 申請分野 | 団体指定寄附・分野指定寄附（子ども支援分野） |
| 目的 | <p>※事業がどのように対象者・利用者の利便性の向上や支援につながったかなど、事業の目的を記載してください。</p> <p>(1) 病気を抱える子どもたちが院内や施設などで VR シミュレーター設備を使って外の世界を体験・体感 子どもの入院生活や療養生活では、普段の生活が制限され体験が乏しくなる。そして環境の変化は、子どもの成長発達や心に大きく影響を及ぼす。 その改善のため経験を豊かにする環境の準備が必要となるが、一般個人の家庭はもちろん、行政でもそのようなサービスは用意できず、楽しいことを我慢する生活を送っている現状である。 そこで外に出る機会が少ない病気を抱える子どもたちとその家族に、VR シミュレーター設備を使った豊かな記憶と経験が体験できる機会を準備した。</p> <p>(2) ロボットアプリ導入による病弱児支援の推進 病弱児は、小児病棟の個室にて社会から孤立して闘病している。 病弱児の生活空間は、狭い病室と院内学級のみであり、接することができるのは保護者・医療関係者のみで、友だちや兄弟など同世代の子どもとふれあうことは出来ない環境にある。 そのまま病状が回復し退院しても、コミュニケーション能力や学習能力の低下に伴い、復学できず長期欠席をしてしまう子どもがかなりの数いる。 昨年度の助成金により購入させていただいた「kubi」を、今年度アプリを追加購入し 1 台は常時高校と病棟をつないだ状態で授業参加に活用。もう 1 台は 2 人目の利用者貸し出しや団体のイベント開催時に子どもたちとの交流に使うことができた。 「kubi」を起動するにあたり、アプリケーションの使用料が年間 96000 円となる。この額は法人として大きな負担となるため継続支援と病弱児の「行きたい・やりたい・続けたい」を叶え、SDGs 4 の目標「質の高い教育をみんなに」を達成するツールとして、補助をお願いした。</p> <p>(3) 「透明&ゴールドリボン FESTA in かがわ」の開催 「ゴールドリボン」は、小児がんの子どもたちを支える活動のシンボルマークであり、「透明リボン」は見えない障がい・疾患・悩みで困っている人たちがいる事を知り考えるきっかけにしてほしいと始まった、「見えない障がい・疾患・悩みバッジ」である。 支援の届いていない当事者と社会課題に関心をもたない県民に未来 ISSEY や民間団体を知って頂き、病気で悩む本人や家族が孤立することなく自立に繋がるように改めて啓発活動（今回のキャンペーン企画）を行いより確実に支援に結び付けることを目的とした。 今回のイベントでは MC はスタッフで担当し、社会貢献活動にも精通しているフリーアナウンサーの中井美穂さんや、香川県のタレント・シンガーソングライター、福本愛莉さんを招聘することで、より効果的な集客を行った。 また今年度は、昨年度メイン企画として開催し多くの反響が得られた高校生のディスカ</p> |

| | |
|---------------------|---|
| | <p>ッションを拡大し、昨年度参加できなかった高校にも参加してもらい、ボランティア活動の推進についてもアピールした。</p> |
| <p>事業実施の地域及び対象者</p> | <p>※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。</p> <p>地域：香川県内全域 対象：小児がんを抱える子どもとご家族 約 200 名 県内で社会貢献活動を行う団体 12 団体 辛さが見えにくい障がい・疾患・悩みを抱える方々と県民全体 うちイベント参加者 約 1000 名 病気等を抱える子どもとご家族 約 1000 名 医療・介護・教育関係者と受益者 約 200 名</p> |
| <p>具体的な事業内容</p> | <p>※実施した事業内容について、具体的に記載してください。</p> <p>(1) 病気を抱える子どもたちが院内や施設などで VR シミュレーター設備を使って外の世界を体験・体感 ・シムピットスクリーン「アベンジャー180MDF」を購入。 ・スタッフ・教育関係者・ボランティア等で設置・調整が自力でできるよう研修を行う。 ・香川県内の病院または施設にてイベントとして提案、外に出て活動しにくい状況の病弱児他、支援が必要な方にシミュレーション設備を使って参加できる体制を作る。</p> <p>(2) ロボットアプリ導入による病弱児支援の推進 ・未来 ISSEY がロボット「kubi」使用における「Telepotalk アプリケーション」追加で 1 ライセンスを獲得し、今年度も「kubi」の効果的利用が継続できるようにする。 ・香川県内外で外に出て活動しにくい状況の病弱児他、支援が必要な方に貸し出しを随時行う。 ・四国子どもとおとなの医療センター・香川大学医学部附属病院等医療関係、院内学級を含む小・中学校への紹介、HP 上、SNS での拡散を行う。 ・教育委員会主催の「小中幼校長・園長会」でロボットの有用性と利用促進の広報活動を行う。</p> <p>(3) 「透明&ゴールドリボン FESTA in かがわ」の開催 場所：イオンモール綾川 1F グリーンコート 日時：2024 年 2 月 4 日(日)10：00～15：00</p> |

※事業の実施がどのように今後の法人活動の活性化や基盤強化につながるのかを具体的に記載してください。

(1) 病気を抱える子どもたちが院内や施設などで VR シミュレーター設備を使って外の世界を体験・体感

子どもたちに院内や施設などで VR シミュレーター設備を使って飛行機を操縦する疑似体験をしてもらった。

ゴーグルを付けない、オープンで立体的な空の映像と臨場感あふれる飛行機の離陸着陸体験は、子どもだけでなく大人も感動を味わうことができる迫力であった。

どの会場でも子どもたちはもちろん、保護者や設置調整したスタッフ・教育関係者等みんなが終始笑顔になり、操縦士への応援の声や歓声が上がった。

体験後のアンケートや会話から、子どもたちには「楽しい」「もっとうまくなりたい」「友だちにも教えてあげたい」「将来飛行機に乗りたい」「パイロットになりたい」という明るい・前向きな気持ちをもってもらうことができた。

シミュレーションを通じて楽しいと感じることを友だちや家族と経験する事で、発達の維持向上と、一瞬病気を忘れまた楽しいことを経験したいという意欲に繋がったと思われる。

研修に参加し、機材の設置調整に関わった教育関係者たちは、未来 ISSEY の事業やその効果を感じて、今後も未来 ISSEY への協力を表明して下さった。

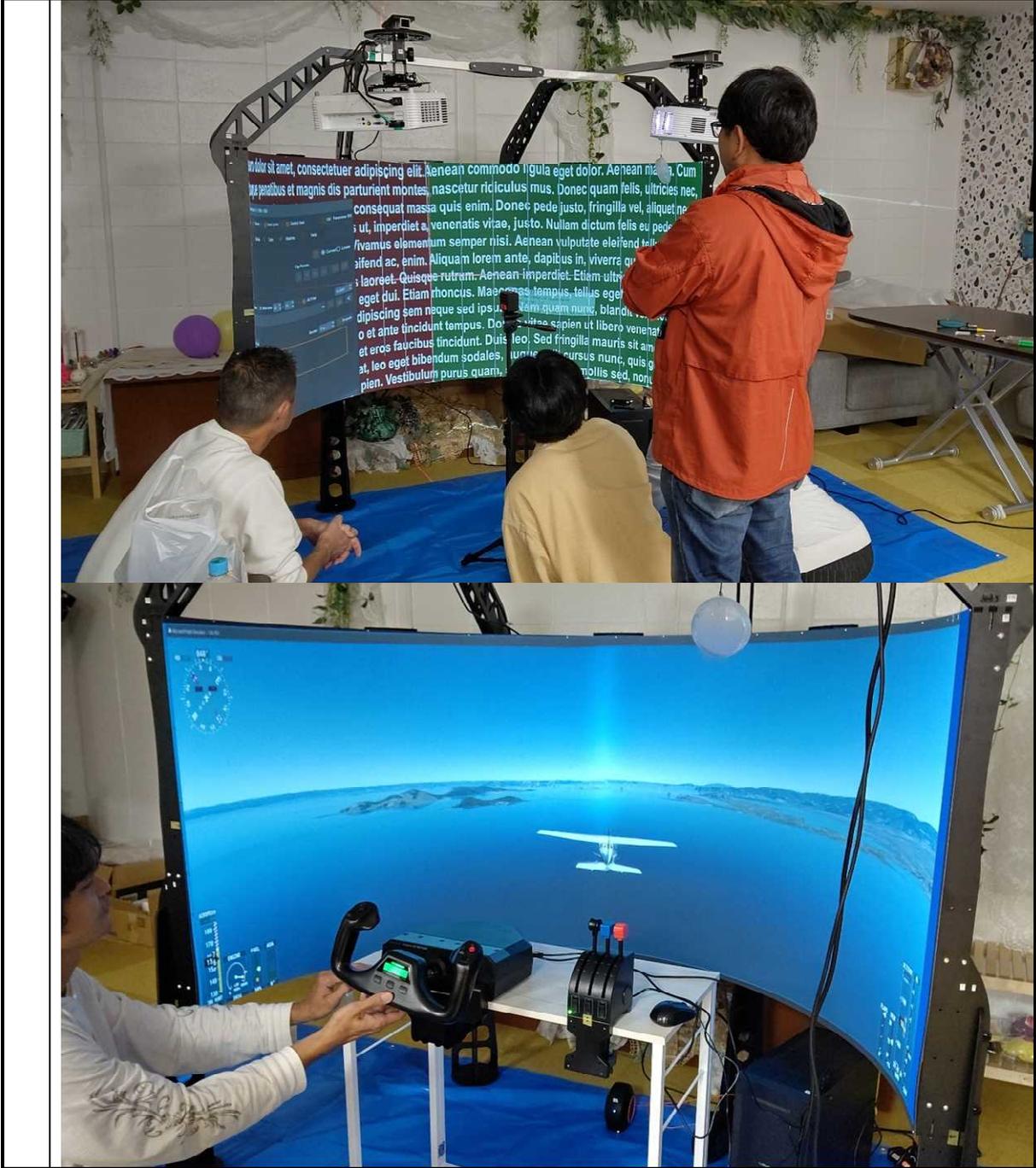
今回規模の大きな病院に企画を持ちかけたが、良い返答が得られず未開催となった。コロナ対策が緩和されたとはいえまだまだ集客数の多くなるイベントは開催しないようである。

また企画内容が効果的に伝わっておらず、魅力をお伝えするに至らなかったため、来年度以降で実績を積んでいきたい。

(①②③11/4 設置調整研修、④11/5 マルタス、⑤1/21 みらいキューブ、⑥⑦へいわこどもクリニック)

事業実施の効果









(2) ロボットアプリ導入による病弱児支援の推進

県内私立高校学生 1 名に対し、ロボットの 1 年間の継続的貸し出しを行うことができた。県外への転院もあったが、その中でも学習の機会を維持し、高校生活を送ることができた。オンラインでの参加は出席の扱いとなっているとのこと。

その間も未来 ISSEY のイベントで子どもたち・学生ボランティア「グッドブラザー」・各箇所のスタッフや職員がロボットを利用、楽しく活用して効果的に使えたとともに広報ができた。

購入させていただいた「Telepotalk アプリケーション」を搭載した「kubi」は病弱児とその保護者・きょうだい児が社会との交流を持つサポートを、これまで以上に幅広い場面で続けることができるようになった。

| | |
|----|--|
| | <p>医療機関・教育機関などの関係団体との協力で利用されることで、現在未来 ISSEY が行っている支援活動も知られる。より良い関係性を築き、より多くの病弱児の元でロボットが活用されるようになるため、観音寺市教育委員会・坂出市教育委員会「小中幼校長園長連絡会」においてロボット事業説明をさせていただいた。坂出市ではロボット事業について推進したいと議会でも取り上げられたと伺っている。</p> <p>また病弱児のロボット活用事例を関係者や広く一般に SNS 等で拡散させ、情報が病弱児だけでなく他の孤立しがちな方にも届くようにした。未来 ISSEY の存在や支援活動を知っていただく機会にもなっている。</p> <p>3) 「透明&ゴールドリボン FESTA in かがわ」の開催</p> <p>12 団体の出店と中井美穂様・福本愛莉様・県下 5 校の高校生の参加が叶い、盛況のうちに終了。</p> <p>小児がんをはじめきょうだい児の問題・他の弱者の問題が広く認知されることは、理解者・支援者の輪を広げることになった。</p> <p>今年度高校生ディスカッションに多くの学校の参加を募り再度開催したことにより現在県内で広がり始めた社会貢献活動への関心の高まりと、理解者・支援者の輪をもっと密にし大きくした。</p> <p>また、二名の著名人を招聘したことにより、来場者が増え、それに伴って小児がんや見えない障がいに対する関心や理解が県内に広まっていった。</p> <p>(別紙にて報告)</p> |
| 備考 | <p>※その他、特にPRしたいこと等があれば記載してください。</p> |

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

事業実施のスケジュール

| 年 月 | 活動内容 | 対象者 | 参加者数 (延べ) |
|------------------------|--|---|-------------------------------------|
| 令和5年 4月～ | (1) 院内や施設などでVRシミュレーター設備のイベント企画 機材の購入・周辺機器の検討、見積もり、 機材の導入の相談 | | |
| 6月～ | 補助金認定、イベント企画 | | |
| 8月～ | 搬入・使用方法の研修、企画の調整、 | | |
| 11月4日 11月5日 | 機材研修 イベント実施①(マルタス) | ●教育関係者・スタッフ | ●8名 |
| 1月21日 | イベント実施②(みらいキューブ) | ●病気等を抱える子ども とご家族・医療・介護・ 教育関係者 | ●31名 |
| 2月10日 | イベント実施③(へいわこどもクリニック) 利用者の感想取りまとめ・振り返り | | ●17名 |
| 令和5年 4月 6月 8月 | (2) ロボット導入による病弱児支援の推進 関係者・関係機関へ貸し出し開始 購入機器の再度確認、調整 補助金認定 | ●病気等を抱える子ども とご家族・医療・介護・ 教育関係者と受益者 | ●52名 |
| 10月～ | 観音寺市教育委員会・坂出市教育委員会においてロボット 事業説明 | | ●1名1年間 |
| 2月 | 利用者の感想取りまとめ・振り返り | | ●対象高校 教員約15名 |
| 令和5年 6月～ | (3) 「透明&ゴールドリボンキャンペーン IN かがわ」の開催 企画立ち上げ 企画の具体化 (イベントのねらい・時期・場所・内容・・・) | | ●医療関係 約15名 |
| 8月～ | 補助金認定 企画の見直し・委託先への業務依頼・各団体・出場高校と の打ち合わせ | ●病気等を抱える子ども とご家族・医療・介護・ 教育関係者と受益者 | ●短期間・ イベントでの 利用者約 50名 |
| 11月～ | 動画・チラシ作成配布 | | ●約70名 (小中校長・園長・ 教育委員会 事務方) |
| 1月 | 最終調整 | | |
| 2月4日 | イベント開催 | | |
| 2月中旬以降 | 参加者(各団体・県民)の感想取りまとめ・振り返り | | ●約700名 |

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

| 項 目 | 金額 | 説 明 |
|------------|-------------|------------------------------------|
| NPO基金補助金額 | ★ 2,489,419 | |
| 自己資金計 | 154,995 | ①+②+③+④ |
| ① 参加料収入 | 50,000 | 透明&ゴールドブース代 5000円×10団体 (主催団体を除く) |
| ② 会費等 | 0 | |
| ③ 寄附金等 | 0 | |
| ④ その他 | 104,995 | ※内容を具体的に記載してください。 未来 ISSEY 持ち出し |
| その他助成金等収入計 | 0 | ①+②+③ |
| ① 補助金収入 | 0 | |
| ② 委託金収入 | 0 | |
| ③ その他 | 0 | ※内容を具体的に記載してください。 |
| その他資金収入 | 0 | |
| 合 計 | 2,644,414 | |

(注)その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

| 項 目 | 金額 | うちNPO基金 補助金充当額 | 説 明 (使途、積算根拠等) |
|---|-----------|-------------------|---|
| ① VR シミュレーター設備一式 (備品購入費) | 1,044,405 | 939,410 | シムピットスクリーン「アベンジャー180MDF」・プロジェクター・パソコン・コントローラー・設置作業費 |
| ② VR シミュレーター体験イベント企画人件費 | 157,955 | 157,955 | 吉田・栞原 (9~2月分) 他調整スタッフ |
| ③ VR シミュレーター体験イベント当日人件費 | 51,280 | 51,280 | 吉田・栞原・南・猪池 |
| ④ VR イベント当日スタッフ交通費 | 6,000 | 6,000 | 吉田・栞原・南・猪池 |
| ⑤ 「Telepotalk アプリケーション」(ロボット操作アプリケーション) | 105,600 | 105,600 | 月割りでの利用ができないため1ライセンス |

| | | | |
|---|-----------|-------------|---|
| ⑥ 透明&ゴールド イベント委託費 | 443,509 | 434,500 | 会場設営・運営全般(ビザビ) 講演 (中井美穂様) |
| ⑦ 透明&ゴールド イベント人件費 | 395,975 | 395,975 | 吉田・榎原 (9~2月分) 他スタッフ |
| ⑧ 当事者用未来 ISSEY 紹介パ ンフレット作成 委託費 | 27,441 | 27,441 | パンフデザイン委託費 他イラスト作成費 |
| ⑨ 透明&ゴールド チラシ・ポスタ ー作成委託費 | 63,427 | 44,775 | チラシ・ポスター作成委託費 10000 円 チラシデザイン委託費 15000 円 ポスターデザイン委託費 15000 円 他イラスト作成費 |
| ⑩ 透明&ゴールド チラシ・ポスタ ー・クリアファ イル印刷費 ISSEY 紹介パンフ レット印刷費 | 88,748 | 66,409 | チラシ 3500 部 ポスター100 枚 クリアファイル 320 個 パンフ 5000 部 |
| ⑪ 透明&ゴールド 交通費 | 10,500 | 10,500 | @500×21 回 |
| ⑫ 全事業駐車場代 | 0 | 0 | |
| ⑬ 全事業振込手数 料 | 889 | 889 | 他行振込代 |
| ⑭ 全事業通信運輸 費 | 28,690 | 28,690 | チラシポスター郵送 |
| ⑮ 全事業消耗品費 | 219,995 | 219,995 | 文具費・パネル・用紙・プリ ンターインク・ その他雑費 |
| 合 計 | 2,644,414 | ★ 2,489,419 | |

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。